

医学統計学研究センター  
令和 2 年度 Online セミナー

新型コロナウイルス感染症に対するワクチン、  
あるいは、インフルエンザ・ワクチンの効果とは？  
また、その効果に関する研究デザインは  
どうあるべきか？

*What the study design on the efficacy and/or effectiveness of  
influenza or covid-19 vaccination should be?*

講 師： 丹後俊郎（医学統計学研究センター）

日 時： 令和 3 年 3 月 11 日（木） PM1：30～PM5：00

参考書： 丹後俊郎著「統計学のセンス – デザインする視点・データを見る目」  
朝倉書店、1998

対 象： 臨床医学、公衆衛生学、疫学などの研究に従事している大学院生、研究者、実務家、  
臨床開発に従事している製薬企業の統計担当者、その他、本セミナーに興味のある者

参加費： 参加申し込み区分（税込）：  
A：アカデミック 1 万円（大学・病院・大学に所属する研究機関所属の方）  
B：ノン・アカデミック 2 万円 **参加申込方法詳細は次ページをご覧ください**

催行人数： 最小催行人数 7 名、最大催行人数 20 名（先着順）  
開講 7 日前迄に最小催行人数に達しない場合、中止となる場合がございます  
あしからずご了承下さいませ。不催行になった場合、メールにてご連絡致します

セミナーの内容：

国内外で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するワクチンの開発が進んでおり、すでに多数の患者を対象とした第 III 相臨床試験を開始した開発グループも登場している。最近、米製薬会社ファイザーと独 BioNTech が共同開発している新型コロナワクチンが、第 III 相臨床試験で 90% 以上の高い有効性を示したと発表したが、90% とは一体どのような意味があるのだろうか？

話は少々古くなるが、1987 年に作成された「インフルエンザ流行防止に関する研究班」の報告書を、当時の公衆衛生審議会が検討し、同年に意見書を公表しているが、その骨子は「個人に対しては発病防止効果、重症化防止効果などの点で利益を与える」という内容であった。しかし、丹後、他（1990、日本公衛誌）は、小学生を対象とした類似の調査データを再解析することにより、厚生省研究班が示した効果が、実は児童の「普段の健康度」に交絡した「見かけの効果」、であった可能性が強いことを示した。

それから約 30 年経過した現在の状況はどうだろうか？最近は、病院を自分の意思で受診した患者さんだけを対象とした Test Negative Design による研究が世界的に増加している。つまり、医師の日常の診療活動の中で実施できる「楽な研究デザイン」である。そのデザインから推定される有効率は、例えば、43%などと推定される。ここでも、この 43% とは何を意味するのだろうか？

本セミナーでは、昔から論争が絶えない「インフルエンザ・ワクチンは効く、効かない」の議論ではなく、「インフルエンザ・ワクチンの有効性に関する研究」、最近の「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対するワクチンの開発」などを例に挙げて、一般国民にも理解でき、かつ、適切な推定結果が得られるための研究デザインはどうあるべきか、について解説するとともに、参加者の皆さんと議論したい。

Zoom を利用し、丹後がリアルタイムで講義を行うライブ配信形式となります。通常の対面形式セミナーと同様、進捗確認、質疑対応をしながらセミナーを進め、細かいフォローが出来るよう、上限定員を 20 名と致します。(先着順)

参加申込者 1 人に対し、1 人でご参加いただき、複数人での受講はご遠慮下さい。複数人の参加者が 1 台の PC を共有しての参加はお断り致します。

参加者の方の接続環境に原因がある場合は、当日こちらでは解決ができませんので、必ず事前にテストをしておいて下さい。Zoom の接続テストページ : <https://zoom.us/test> となります。また、当日、セミナー開始時間までに接続できない方がいる場合でも、セミナーは予定開始時間からスタート致しますので、予めご了承ください。

セミナー中は、休憩時間を除き、Zoom の機能で参加者ご自身の顔を映してください。会場の環境が変わっただけ、と考えていただければ幸いです。機器の都合でご自分の顔が表示できない場合には、その旨事前にご連絡下さい。音声は発言時以外はミュートにしておいていただきますが、事前に発言時を想定し、音量チェックをしておいて下さい。録画、録音はお断り致します。

参加申し込みいただいた方には、「セミナー参加申込受付完了」のメールをお送り致しますので、申し込み後数日たってもこれを受信しない場合は、確認のご連絡をお願い致します。

#### 参加費のお支払い

開催日の 10 日前 (3/1(月)) までにお振込みください。※請求書を希望される方、備考に記載願います。請求書によるお支払いの場合で、振り込みが 3/1 以降になる場合は、入金予定日をご連絡いただければ問題ございません。

#### キャンセルボリシー

ご入金後の場合 > お申込み日よりセミナー 3 週間前 2/18 (木) 23:59 までは無料でのキャンセルを承りますが、返金は振込手数料を差し引いた金額での返金とさせていただきます。  
2/19 (金) からセミナー 10 日前の 3/1 (月) 23:59 までのキャンセルは、振込手数料およびキャンセル料 5,000 円を差し引いて参加費を返金とさせていただきます。3/2 以降は、キャンセルについてはお受けできず、全額のキャンセル料をご負担いただき、返金できませんので、あらかじめご了承下さい。ただし受講代理を認めますので、代理の方に受講いただく際にはその旨を前日までにご連絡下さい。代理の方が参加いただく際、資料の発送はどちらから致しませんので、ご了承下さい。領収証の発行は、省略させていただきますが、領収証をご希望の際は、備考としてご連絡ください。講義資料と併せて郵送させていただきます。

ご入金がお済みでない場合 > 2/19 以降キャンセルの方にキャンセル料請求書をお送り申し上げますので、キャンセル料をお振込み願います。

#### 参加申込方法 :

参加希望の方で、上記にご了解をいただけます方は、**3/1<sup>(Mon)</sup>** までに、E-mail にて事前申込をお願い致します。

**宛先 : secretary@medstat.jp**

**件名 : 3 月 11 日オンラインセミナー参加申込**

**本文 : A. ご氏名 B. ご所属 C. 参加申し込み区分**

**D. 資料送付先の 郵便番号・住所・連絡のつくメールアドレス**

※資料は事前発送となりますので、確実にお手元に届く住所の記載をお願い致します

**E. 備考 (請求書・領収書がご入用の際などご記入下さい)**

振込先詳細は参加申込受付完了メールにてご案内申し上げます。  
質問等ございましたら、上記メールアドレスへお問合せ下さい。

